


## 全国都市再生モデル調査概要様式

1. 応募団体名	特定非営利活動法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま 担当：元山 英興（同上NPO事務局長） 連絡先：08853-3-0302（NPOこまつしま）
2. 調査名	小松島市における港の「食」を要とした市民行政協働による持続的まちづくり推進調査
3. 推薦団体名	
4. 調査の対象地域	
(1)対象となる行政区域名、地区名等	徳島県小松島市
(2)対象となる行政区域及び地区の特徴	小松島市人口 43,110人 " 世帯数 16,260世帯 神田瀬川河口の小松島本港地区を中心に発展し4万トン級岸壁を含む面積64haを有する港町である
5. 提案した活動の内容	
(1)テーマ、課題	<p>【テーマ】：市民・行政の協働による、港の「食」を要とした持続的まちづくり活動の展開、並びに、地域学習活動と連携したWIN&amp;WIN型ボランティア制度の試行</p> <p>【課題】：市民・行政の協働によるまちづくり活性化による取り組みが、単発的なイベントに終わらず、持続的な都市再生へと展開するには、取り組みが【きっかけづくり】【活動の場づくり】のみならず、【持続のための仕組みづくり】・【活動の維持管理】【活性化活動のリスク管理】といった、「持続的活動環境」の整備が不可欠となる。小松島市における港空間を活かしたまちづくり活性化を都市再生へと成功に導くためには、不足している多面的な持続的活動環境の整備を推進する必要がある。</p>
(2)本調査費による活動内容の概要	<p>【本調査により行われた活動内容の概要】</p> <p style="text-align: center;">社会実験対象地域位置図</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  </div>

### 活々物産産直市の継続社会実験

- ・ 活々産直市の実施  
小松島市内を中心とする一般市民による産直市への出店が実施された（結果：出店者数35名+2グループ）
- ・ 産直市関係者意向調査  
顧客アンケートの実施 平成17年1月～（94名）  
出店者ヒアリングおよびアンケートの実施  
平成17年2月8日（15名）
- ・ 本別町との物産交流  
小松島市の姉妹都市である北海道本別町の主婦を中心とした活動グループとの交流により、本別町特産品の「豆類」を物産市で紹介した

### 活々物産産直市の出店の様子



屋外ブース活用



屋内ブース活用

### みなとカフェ魅力度向上社会実験

- ・ みなとカフェワークショップ  
計3回開催（平成16年10月～）参加者：18名  
ゲストシェフ・市民・市内の高校生・NPO関係者により  
みなとカフェの新メニューについて検討を行った
- ・ カフェ講習会参加  
「エコ・コミュニティ・レストラン」プロジェクト研修会  
平成16年12月12日 カフェ担当者1名とNPO理事  
1名が参加（全国の先進事例や、メニューづくりの視点な  
どを学ぶことで、カフェ担当者の意識高揚に繋がった）
- ・ みなとカフェ関係者意向調査  
試食アンケートの実施 平成17年1月9日（50名）  
関係者ヒアリングの実施 平成17年1月31日（5名）
- ・ みなとカフェ新メニュー開発  
ワークショップ、アンケート、ヒアリングを基に新メニ  
ューを開発し、販売を行った

### みなとカフェワークショップの風景



新メニューの意見出し メニューにちなんだ扮装の高校生

みなとカフェ新メニュー

【義経寿司】と【弁慶味噌汁】

義経の優美さを表現して、扇形に盛り付けたちらし寿司  
弁慶のたくましさ表現して、大きいお椀に盛り付けられた【その日に獲れる魚貝類】を使用した味噌汁



【あんシフォン～静御前～】

小松島市に1軒だけ残った徳島県南唯一のあんこ屋さんのあんこを使用したシフォンケーキ：静御前の温もりをシフォンケーキに託し、しなやかさをパウダースUGARで表現した（コーヒーや紅茶とのセットメニューとして好評）



【神田茶あんみつ～あんみつの古里・神田の香り】

小松島港に注ぎ込む勝浦川の上流域で昔ながらの製法により製造されている上勝晩茶（その中でも神田（じでん）の里でとれる茶葉）を使用し海からとれる寒天とのコラボレートにより、小松島のあんこを使ったあんみつが生まれた。また「あんみつ」は、徳島県出身の俳人・橋本夢道が考案されたと言われている。



WIN&WIN 型ボランティア制度試行実験

- ・ ボランティア認証登録制度の仕組みづくり  
ボランティア認証登録制度の実施要領および推薦要領の作成を行った
- ・ ボランティア認証登録制度の意向調査  
ボランティア認証登録制度の仕組みづくりにあたって、今回の試行実験の対象校である小松島高校を対象にヒアリング調査を行った（3回）
- ・ ボランティア認証登録の対象者の表彰  
小松島港およびその周辺のボランティア活動に積極的に参加した小松島高校生22名をNPOが表彰した



		<p>ボランティア認証登録表彰の様子</p>  <p>小松島高校全校生徒の前で表彰式が行われた</p>
<p>6 .本調査と関連する活動実績</p>		<p>その他のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産直市試食会 産直出店者による試食品の提供により、訪問者の購買促進を図ると共に、出店者と訪問者の交流を図った</li> <li>・ ビジターハーバー関連のイベント ヨット体験クルージング、みなとオアシス登録記念イベント、年末カウントダウンイベントなどを実施した みなと交流センターkocolo(旧フェリーターミナル)の活用</li> <li>・ みなと履歴情報収集・みなとギャラリー整備 小松島港とその周辺の昔の写真や思い出の収集を行った 収集された、みなと履歴情報をギャラリーとして整備を行った(小松島高校との連携事業としても実施した)</li> </ul>
<p>7 .本調査の成果等、本調査の実施課程で顕著化した課題など</p>		<p>本調査の実施により、産直市の継続、みなとカフェの新メニュー開発等による新しい連携や市民参加のあり方、また、それに伴う訪問者の増大による港情緒の復活等の効果が得られた。また、小松島高校との連携により、みなとまちづくりへの高校生の参加が得られたことや、それに伴うボランティア認証登録制度が整備されたことも成果の1つといえる。</p> <p>今回の産直市実施の課程で、屋外ブースの向き等から生じる閉鎖性が明らかにされたことより、今後は、行政・NPO等による仕掛けづくりにとどまらず、近隣商業者の参加を促し、港周辺の経済効果にも寄与する検討が必要である。また、今回、小松島高校との連携活動を行ったが、今後は、小松島高校を含む小松島市内の学校関係者・教育分野との連携を深め、住民・行政・教育関係者・専門家等による、みなとまちづくりの基盤を整え、まちづくり＝人づくりといった観点から、港を取り巻く環境を活かした更なる取り組みを検討していく必要がある。</p> <p>また、小松島港は、今年度「みなとオアシス」登録がされていることも、今後のみなとまちづくり活動に有効活用し、同時に、みなとオアシスとしての機能向上を図ることも重要となってくる。</p>